

講評

住宅部門

| 賞 | 作品名 | 講評 |
|-----|-----------|--|
| 優秀賞 | 松原のいえ | 田園の中に建ち、木とガルバリウム鋼板の組み合わせでメリハリの効いた外観のアズマダチを意識させる住宅です。南面の庭には地下水を利用した水盤が設置され、その反射光が外壁に揺らぎのある紋様を映し出します。南側の大きな開口部から得られる日射に加え、Ua値0.23の高断熱性能(暖房なしで室温15度を維持できる性能)により冬でも6畳用エアコン1台で対応できる設計です。室内外には設計者である施主自ら工夫を凝らした箇所がみられ、多様な木材を用いたこだわりの仕上げや住設、並びに南面外壁に日射熱を籠らせないファサードラタン(透湿防水シートの上に、スノコのように杉板同士の隙間を明けて外壁を覆う工法)を採用するなど、実験的かつ挑戦的な取組みを多く盛り込んでいることも評価され優秀賞としました。 |
| 優秀賞 | ななめ壁の家 | 宅地の一角に、ななめ壁の意匠が目を引き住宅です。一般に室内に傾斜壁を取り入れると圧迫感が強くなるが、解放感の強い吹抜けダイニングと組み合わせることで、適度に包まれるような安らぎの空間を演出しています。木材利用についても、使用箇所ごとに製品寸法をオーダーするのではなく、床板として使用する30×175mmを基準として注文し、材料の特徴に合わせて選別し使用するなど、高い設計能力が発揮されています。内装のつくりをはじめ、住宅としての設計完成度も非常に高く、設計者のよく練られた計画も評価され優秀賞としました。 |
| 優秀賞 | 木なネコhouse | 白い外壁に木部が映える住宅です。ガルバリウムの斜めの壁、杉板の組み合わせからはカジュアルな印象を感じさせます。内部は職人手刻みによる柿洪塗の丸太梁や、大工技術が必要になる真壁づくりなど、技術の光る仕上がりになっています。技術と工夫は浮造りの床、内部造作の随所に見られます。赤身勝ちの材で作られた上質な空間からは、材の選別能力とセンスの良さを感じさせ、大工技術者として技術を追及した出来栄が評価され優秀賞としました。 |
| 特別賞 | 多層の家 | 狭小な敷地を最大限に活かすため、軒の出の無いボックス形状の住宅です。内部は外観からは想像できないほど木材がふんだんに使用されており、数層のスキップフロア(複数の高さのフロアを一つの階に作った間取りのこと)を重ねることで限られた縦の空間を効率的に活用しながらも、吹抜けにより明るく開放的な印象を作り出しています。これらの構造の工夫により目線の違った空間を楽しむことに加え、県産材で作られた造作家具も評価され、特別賞としました。 |

非住宅部門

| 賞 | 作品名 | 講評 |
|------|----------------------|--|
| 最優秀賞 | 富山県立大学学生会館 | 富山県立大学学生会館は学生交流や地域に開かれた新たな交流の場として、県内の公共建築物として初めてCLT(直交集成板)が使用された施設です。木材調達については、とやま県産材需給情報センターによるサポートを受け、可能なかぎり県産材を活用し、CLTを使用した耐力壁については、木材研究所の協力のもと強度性能試験を行うなど、建設にあたり県内の木材業界の全面的な協力により完成しました。内装にも大量の県産材を使用されていますが、圧迫感もなく、利用する学生からは、床を傷つけないため土足禁止にするなど愛着をもって利用されています。県民に開かれた大学という、県を代表する公共的なPR拠点として評価され、最優秀賞としました。 |
| 優秀賞 | ウッドリンク株式会社 富山店事務所 | 国道8号線沿いに一際目立つ、非住宅建築物の木造化提案につながるショールームの役割も担った、木造事務所です。外壁には木構造が見えるガラスと県産材羽目板が調和しており、デザインも洗練されています。下見板は防腐剤の含浸性能を上げるためにラフ仕上げとし、その上に塗料を重ね、軒の無い外壁での長期間の耐候性を高める工夫をしています。ラーメンフレームを現しとしながらもすっきりとした印象の天井仕上げなど、随所に設計者の作りこみが垣間見え、木造事務所建築の可能性を示した好事例といえることから、優秀賞としました。 |